

つべこべいわずにまずはやってみませんか

経済学部経済学科 村上幸佑
(大阪府立 汎愛高等学校出身)

1. 大学入学前はどのように過ごしていましたか

高校時代は剣道部に所属し、毎日稽古に励んでいました。学業面では、高校1年生の時にテストで学年3位を取り、英検準2級にも合格しました。しかし、それ以降は部活動に専念し過ぎるあまり、学業成績はさほど良好ではありませんでした。

2. 上級キャリアコースは厳しいのか？

まず、受講態度に関する指導についてですが、初めは厳しいと感じていました。しかし、当たり前のことを当たり前に出始めた頃から、厳しさは感じなくなりました。他の人も書いているので詳細は繰り返しません、ここでいう当たり前のこととは、社会人としてのルールと換言できるでしょう。そして重要なことは、上級キャリアコース(以下、上キャリ)の指導で身についた振る舞いが、就活のときに非常に役立つということです。実際、企業説明会の際、普段の講義と同じように話を聞いていただけなのですが、「基本的なマナーがしっかりできており大変好感が持てる」と褒めて頂いたことには驚きました。

講義に関してですが、テストはほんまにしんどかったです。最初の頃は点数もかなり低く、順位を見る度に落ち込みました(笑)。ですが、成績優秀な同期の者に声をかけて一緒にテスト対策をし、講義が終わった後も学食に1人残って勉強するなどしました。結果、3位になることができたのを皮切りに、EREでもA評価を実現することができました。

3. 上級キャリアコースで活躍する者の資質は？

「上昇志向と負けず嫌い」：上キャリの講義では、基本的にテスト順位が公表されます。つまり、非常に競争的な環境に置かれますので、そのプレッシャーに耐えることができるのはもちろん、トップを目指してやるという気概が必要です。

「コミュニケーション能力」：上で指摘したように、負けず嫌いは上キャリ生としての重要な資質ではありますが、一方において、仲間と共に一丸となって目標に向かって努力し続けられるかも極めて重要な資質といえます。仲間との助け合いなしで良好な成果を出すには限界があるからです。

「スケジュール管理能力」：上キャリでは学業やコース関連行事が最優先となります。また、効率性を重んじる組織であるため、一度の指示で適切・迅速に処理することが求められます。これらにうまく対応するには、高いスケジュール管理能力が必要です。「レポート提出日を忘れていた」などはほんまにおわりですし、戦力になりません。

4. 上級キャリアコースの強みは？

「ヨコとタテの繋がり」：つまり、同輩間での繋がり、先輩 - 後輩間さらには教員 - 学生間の繋がりです。同輩間の繋がり、切磋琢磨できる仲間がいることを意味します。上で触れたように、上キャリでは一度の指示に適切・迅速に対応しなければなりません、このためにも信頼できる仲間が欠かせません。先輩 - 後輩間の繋がり、既に有名企業で働いている卒業生の方々、高い学業成果を実現している先輩から、さまざまなアドバイスをもらえる機会が非常に豊富なことを意味します。教員 - 学生間の繋がりですが、上キャリでは両者の距離が近いです。ですので、学生側が本気である限り、先生方は驚くほど親身になって学業や就活を支援してくださります。

なお、上キャリ生の多くが「上キャリで一番素晴らしいのは何か？」という問いに対して、上記のような環境と答えます。そして、この環境が、これまでの自分では想像もできなかったような良好な学業・就活成果に繋がったといいます。ただ、厳しいことをいうと、この種の環境は個々の学生や教員の主体的な努力によって生み出されているものであるということは忘れないでください。つまり、上キャリに入れば自動的にこのような環境が手に入られるというわけではなく、あなたがそのような環境づくりに積極的に貢献しなければならないということです。あなたは、上キャリの戦力になれるか？あなたが上キャリに入ることにより、組織にどう貢献できますか？これらの点もしっかり考えてください。上キャリは本気のメンバー以外は募集していません。

5. 上級キャリアコースで楽しかったことは？

上キャリには楽しい部分もあります。入学式や関連行事さらにはオープンキャンパスといったイベントのお手伝いも責任とやりがいがありなかなか楽しいのですが、やはり合宿が一番の思い出として残っています。といっても勉強合宿ではなく、昼は体育館やグラウンドでスポーツを楽しみ、夜は宴会といった感じです。合宿は、メンバー間の結束を高めるための重要な行事として位置付けられていますので、これを楽しむことができるのかも上キャリ生としての適性に関連してきます。「参加は強制なんですか？」などの後ろ向きな質問する人がいるとすれば、その人はコースに向いていません。何にでも関心を持って、まずはやってみる精神こそが上キャリでは大切です。